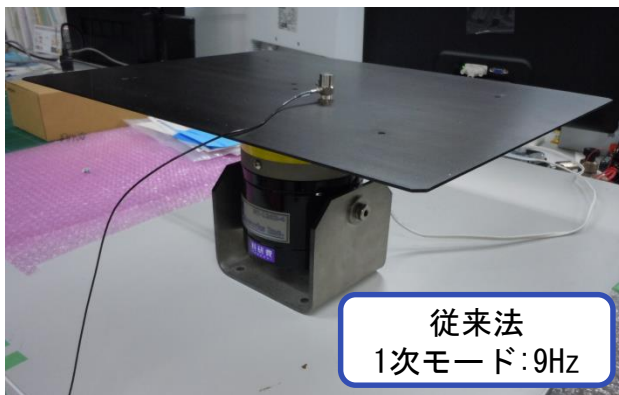


# 複数の加振器を用いた 高周波振動試験手法の検討

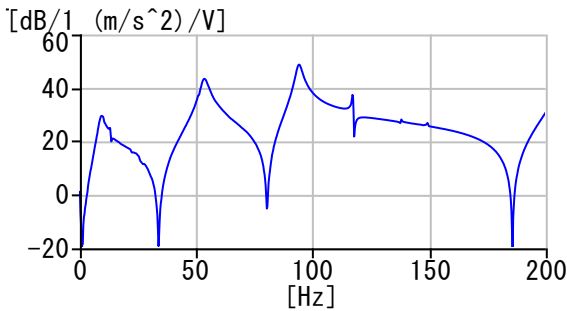
機械技術グループ 福田 良司

航空機関連分野では2000Hz程度の高い周波数帯の振動試験が要求されます。そこで、振動試験機の加振台が高周波帯の試験に対応できるよう、複数の加振器を用いる手法について研究を進めています。

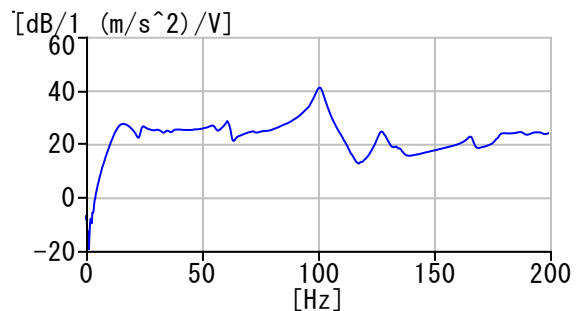
## 内容・特徴



従来法  
1次モード:9Hz



提案手法  
1次モード:100Hz



## 従来技術に比べての優位性

- ① 1次モードを高周波数に設計できる
- ② 発現するモードを減らすことができる
- ③ 従来手法と同じSISO系で実現できる

## 予想される効果・応用分野

- ① 大型構造物に対する適正な試験の実施
- ② 部品の全数検査における試験時間短縮
- ③ 航空輸送を想定した振動試験の実施

## 提供できる支援方法

- 技術相談
- 共同研究

## 文献・資料

### ➤ 文献・資料

- [1] 福田: 機械力学・計測制御講演論文集 2013, "158-1"- "158-7" (2013-08-25)
- [2] 福田: 機械力学・計測制御講演論文集 2015, "142-1"- "142-11" (2015-08-25)